



会報

川高 PTA

"Kaihou"
Kawakou
PTA

発行 福島県立川俣高等学校父母と教師の会
代表 蓮沼 宗芳
編集 PTA調査広報委員会
川俣町飯坂字諏訪山1 TEL 024-566-2121
印刷 株式会社 川俣活版所
発行日 令和2年12月18日

かえで祭「球技大会」……………1
 親子アンケート特集
 新型コロナウイルス感染症について…2
 学校生活について……………3
 川高生の親子関係について……………4
 部活動特集……………5
 インフォメーション川高……………6
 進路だより・編集後記

第101号
もくじ



青春時代の「証」

を胸に刻め川高生!



川高生の元気なパワーでコロナを吹き飛ばせ!

かえで祭 球技大会

伝統の川高「かえで祭」が球技大会として行われ、躍動する川高生の姿が大きく輝いて見えました。

今年度のかえで祭は「球技大会」に

11月6日(金)、第1体育館にて今年度のかえで祭(球技大会)が開催されました。フットサル、バレー、バスケット、バドミントン、リレーの5種目を行い、学年を縦割りにして、「青」「緑」「赤」の3チームに分かれて、総合得点を競いました。白熱した試合展開の結果、優勝は青組ということになりました。

みんなで力を合わせ この危機を乗り越えろ!

今年度のかえで祭は本来であれば非公開の文化祭の開催年でした。しかし昨年末に発生した新型コロナウイルス感染症対策のため、例年夏に行われる予定の球技大会を「代替」とする形のかえで祭となりました。高校生という人生で最も輝きはじめる年代の生徒たちにとって、今年とはにかく我慢の一年となりました。インターハイや各種コンクールが中止となり、一生涯懸命活動に励んできた生徒たちの活躍の場がなくなりました。学校生活においても、常にマスクの着用、ソーシャルディスタンスを守るなど、これまでの学校生活とは全く異なるものだったと思います。そんな中開催されたかえで祭は、コロナ騒動を吹き飛ばすような、川高生の大きなパワーを感じるとても素晴らしいものでした。若さあふれる熱気、川高の伝統ともいえるチームワークの良さ、生徒たちと一緒に「一生懸命プレーする先生方。これぞ「川高伝統のかえで祭」と呼べる素晴らしいかえで祭でした。まだまだコロナウイルスの流行は収まりませんが、川高生の元気なパワーでこの危機を乗り越えてほしいと思います。みんなで力を合わせてコロナに負けるな川高生!



今年のかえで祭は、コロナウイルスの影響により当初の予定通りには実施できなくなりましたが、全校生徒に楽しんでもらいたいと思い、生徒会で工夫しながら内容を考えました。男子はフットサル・バスケット・バレー・リレー、女子はバスケット・バドミントン・バレー・リレーで、それぞれ一人二種目ずつ出場しました。私はバスケットとリレーに出場し、思い切り楽しむことができました。コロナウイルス感染防止のため、応援の仕方にも制約がある中で開催となりましたが、この球技大会を盛り上げ、全校生徒の皆さんに良い思い出を作ってもらうために、生徒会役員全員協力しながら企画・リハーサル・当日の運営に取り組むことができました。

生徒会長 高橋 陽さん

今年度の文化祭は「球技大会」でした。新生徒会役員が中心となって運営を行いました。球技大会の種目であるフットサルやバレーボール等が大きな失敗もなく進行し、会全体を成功で終えることができました。大変嬉しかったです。また、今回のかえで祭のように、生徒一人ひとりが楽しい思い出とすることができたのは、体育委員会や生徒会の皆さん、たぐさんの先生方など文化祭に関わった全ての方のおかげです。次回文化祭も楽しい思い出となるように頑張ってもらいたいと思います。

前生徒会長 末岩海音さん